

PDCAチェックシート

実施年度	令和 7 年度		
事務事業名	地産地消推進事業	担当課名	教育総務課
【Plan】計画	【Do】実施・実行	【Check】点検・評価	【Action】処置・改善
■目的 地場産物を積極的に活用し、学校給食を通して、伝統的な郷土料理等を継承していくために、地域の食への興味や関心を高めることを目的とする。併せて保護者を含め、市民に対しても給食の内容を市HPに掲載し、周知を行う。 また、第4次食育推進基本計画に基づき、引き続き地産地消率の維持と向上を図る。 ■成果指標(アウトカム・KPI) ※ 【目標値】 ・地産地消率 - R6実績値(47.0%)を上回る。 ・地元食材使用回数 174回 【達成値(R7実績値)】 ・地産地消率 48.9% ・地元食材使用回数 年間献立数199回の内 169回	■具体的取組 子ども達に地元の郷土料理や行事食に対する興味や関心を持ってもらえるよう「ふるさと給食」のほか記念日給食の日等を設け、メニューの写真やレシピ等を市HPに掲載することにより、取り組みを広く周知する。また、東かがわ市産や県内産品を中心に、積極的に新鮮な旬の食材を利用した給食を提供した。 学校内では、給食の喫食中に「給食バクパククイズ」などを放送するほか、画像を使った地元食材などの食文化に関する紹介を行った。 ■インプット(投入金額等) 事業費等 ・給食材料費 119,543千円 ■アウトプット(数量等) 実施回数等 ・地産地消率 48.9% ・地元食材使用回数 年間献立数199回の内 169回	■成果指標の具体的検証結果 (インプット・アウトプットに対するアウトカムの達成状況はどうか、また、達成できていない場合の原因は何なのか等の検証結果を具体的に記載) 令和7年度の地産地消率の実績は、対前年比1.9%アップの48.9%となった。 地元の旬の食材を積極的に取り入れることにより、子ども達や多くの方に産地の食材についての認識を深め、啓蒙啓発を行うことができた。一方、食材の調達について、県内5社で牛乳の提供を行っている体制に来年度から変更があり、今年度本市に配達している会社の撤退が表明されたことから、次年度からの安定した牛乳の供給に課題が残っている。	■検証結果を受けての具体的対応 牛乳の安定的な確保については、香川県と緊密な協議を行い、安定した牛乳の供給が図れるよう進める。また、地場産品の確保については、現状を維持しつつ、年間を通して安定した供給ができる販路を開拓し、事業を継続して実施できるよう改善する。 ■評価 現状維持

※KPI … 重要業績評価指標。Key Performance Indicatorの略。アウトカムの達成度を具体的に示す指標(数値)をいう。